



▲ブレーキをダブルディスク化したGS750-2は当時価格で49万円。車体色はディーパーガンディメタリックとパールブラックブルーイングの2タイプ。またハンドルロックが別体式からメインキー一体式となり、キャブセッティングやブレーキを小変更。車台番号はGS750-41212~

▲GS750-2ではディスクプレートが従来の組み立て式から前後とも一体式に設計変更され、外径は275mm。GS750Eで採用されたキャストホイールはスズキ特有の星形デザインで、前後タイヤサイズは変わらず。カタログ値での乾燥重量は初期型から最終型E2まで不変だが、明らかに重量は増しているはずだ。

GS750-2

'78年3月にはモデルチェンジを行い、2型へ進化。フロントにダブルディスクブレーキを備えたのが最も大きな変更点だが、車体色も変更されサイドカバーも同色に。この年運輸省からキャストホイールの国内認可が下り、同年7月1日からGS750Eをリリースしている。そのわずか5ヵ月後、'78年12月1日にはGS750E-2が発売されるが、これは車体色とグラフィックが変更されたのみ。'80年には4バルブのGSX750Eが発売されたため、これが最終型となった。



1978

フロントのディスクブレーキ2連装や
キャストホイールの採用で
豪華さを演出



GS750E



▲キャストホイールを備えたGS750Eは当時価格が51万円。車体色はディーパーガンディメタリックとパールブラックブルーイングの2種類（GS750-2と共通）。シートは段付きに変更され、表皮のパターンも別物。サイドカバーエンブレム下のステッカーは省略された。車台番号はGS750-43896~

1979

▼最終型のGS750E-2も当時価格が51万円。車体色はパールブラックとキャンディラブロックマルーンの2種類で、サイドカバーにもストライプをあしらう。塗色およびグラフィックのみの変更でメカニズムに変更はない。車台番号はGS750-47008~



GS750E2



●スズキGS750E主要諸元

- エンジン 空冷4サイクル並列4気筒DOHC 2バルブ 65.0×56.4mm 総排気量748cc 圧縮比8.7 気化器VM26SS 点火方式バッテリー始動方式セル/キック
- 性能 最高出力68ps/8500rpm 最大トルク6.0kgm/7000rpm 燃費36km/ℓ (60km/h)
- 変速機 5段 変速比①2.571 ②1.777 ③1.380 ④1.125 ⑤0.961 一次減速比2.152 二次減速比2.733
- 寸法・重量 全長2225 全幅855 全高1170 軸距1490 最低地上高150 シート高— (各mm) キャスター27° トレール106mm タイヤサイズ③3.25-H19 ④4.00-H18 車両重量223kg
- 容量 燃料タンク18ℓ オイル3.4ℓ
- 発売当時価格 51万円 (1978年7月1日)

駆動方式をシャフトへ。
ツアラーやアメリカンへとバリエーションを拡大。白バイ仕様も存在した



GS750 PATROLLER

▲GS750には白バイも存在。前後バンパーや赤灯およびサイレン、リヤボックスなどを備え、シートは専用のひとり乗り仕様。夜間走行時、乗員の背中を照らす目的で、ライトが備わるのが特徴。なおアメリカ向けのパトローラー仕様も存在、'77年に現地で大量採用された。フレーム型式は取得しておらず、通常仕様と連番になっている。



GS750G

▲シャフトドライブを備えたツーリング向けモデルで、'79年12月18日発売、当時価格52万5000円。国内初のエア加圧式フロントフォークやGS1000イメージの外装を採用するのも特徴だ。標準はアップハンドルだがオプションでコンチネンタルハンドルも用意。車台番号GS750G-100001~1100196



GS750GL

▲シャフトドライブのアメリカン仕様で、'81年5月21日発売、当時価格52万5000円。フロント19、リヤ16インチホイールやフルバックハンドル、段付きシートを備え、フレームや外装も専用デザインが与えられた。輸出仕様にはチェーン駆動のGS750Lも存在する。車台番号GS750GL-100001~